

法華大会広学堅義奉修



大行道風景

五年に一度の大法要「法華大会広学堅義」が比叡山大講堂で十月一日から六日まで厳修されました。これは、法華経の内容についての口頭試問で、天台宗の僧侶にとっては、大事な試験です。

特に中日の四日には、大講堂の外を散華しながらの大道、新しく探題・已講という天台宗の要職についた二人の九十才を越える高僧と、天皇陛下の勅使が殿上輿に乗って三方向から大講堂前に集まる「三方の出会い」があり、その後、堂内へ入り、勅使に比叡山の歴史や教えを、子供が四組（二人一組）で説明する「稚児番論議」がありました。稚児は白い衣姿の小学生が勤め、その口



大岡舜和法嗣

上は夏休みを返上した丸暗記の猛特訓の成果と緊張が試されたものでした。群馬教区からは、沼田部実相院の大岡舜和法嗣が勤めました。口上と節回しは、大人にも難解であり、師匠の指導は「とにかく覚える」の一点張り。稚児の永きに渡る涙ぐましい努力に頭が下がります。

その他多くの人々の永きに渡る支えによって、この法要が一千年以上営まれていくことの尊さに感謝する次第です。



三方の出会い



発行日 令和2年1月1日
 発行所 高崎市中尾町1261
 TEL.027(362)5620
 天台宗群馬教区宗務所
 発行人 三浦俊
 編集責任者 今村孝道
 印刷所 芝入印刷株式会社
 TEL.027(253)4937

群馬教区檀信徒の皆様新年あけましておめでとうございます。昨年は台風による停電・水害等の生活に直結した被害がありました。これらの台風や大雨等の自然災害の巨大化



群馬教区 檀信徒会連盟会長 神宮 直仁

山崎家に嫁いで三十年余りが経ち、嫁いで一年で義祖母、十五年前に義父、五年前に義母を見送りました。嫁ぎ先が天台宗とは知っていましたが、ただ知っているという事だけで全く感心もありませんでした。今回の研修も観光気分であった事は否めませんが、参加させて頂き、非日常の写経、坐禅、結縁灌頂と体験させて頂き、ほんの少しでも天台宗を知る事が出来、貴重な経験でした。又、研修の法話で「影」という言葉が頭に残っています。根本中堂の「不滅の法灯」を見た時、もともと明るく照らしていると思っていたのですが、明るく照らすという事は影が出来てしまう。あの明るさでは影は出来ず、私達を平等に照らしているのだと自分なりに解釈しました。又、日々の生活の中で不平不満を言はず、感謝の気持ちを忘れずに生活して行こうと思

年頭のごあいさつ
 あけましておめでとうございます。麗しき平和を重ねていく新しい時代、令和二年の希望に輝く新春を迎え、檀信徒の皆様にはご清祥にてお過ごしのことと拝察慶賀申し上げます。

私儀、昨年の秋の群馬教区役員任期満了による改選に当たり、再度各位の御信任を賜り、浅学非才を顧みず宗務所長の大役を仰せつかりました。「愛宗護法」の思い新たに責務を全うする所存でございます。宗務副所長をはじめ各主任共々、何卒ご支援ご協力の程お願いいたします。

昨年の台風等による暴風災害、日本列島各地において天変地異に見舞われました。お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、甚大な被害を受



群馬教区宗務所長 三浦 祐俊

けられた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。そんな中、幸いにして穏やかに過ごせている方々には、常日頃から災害への備えをしていただきたく存じます。そして、国家の安穩と皆が日々安寧に暮らせますよう心から祈りましょう。

天皇陛下におかれましては、昨年十月に御即位を内外に宣明される「即位礼正殿の儀」に臨まれました。天台宗では、天台宗・比叡山延暦寺は皇室と深いご縁で結ばれてまいりました経緯から、宗祖大師様のみ教えを実践することを誓うことこそ、新天皇陛下の御即位を寿ぐことになるものと存じ、桓武天皇柏原陵への参拝後、「天皇陛下御即位奉祝法要」を奉修しました。

さて、昨年七月に開催しました「一隅を照らす運動」発足五十周年を記念し、第十二回「一隅を照らす運動」群馬大会には、参加された二千余人の皆様の中に残る大会が執行できましたこと心より

は地球温暖化に原因が求められています。私達も日々の生活を見直し、温暖化をくいとする工夫が必要になってきました。

さて、さる七月十一日には群馬音楽センターにて、「一隅運動」発足五十周年記念、「一隅を照らす運動」群馬大会が実施され、二千名もの方々に

ご来場頂き、成功裏に閉会いたしましたこと大会副会長として厚く御礼申し上げます。

また、十年間に亘る宗師先徳鑽仰大法会も、根本中堂の改修事業もまだ道半ばであり、事業遂行のためには引き続き皆様のご支援をお願いする次第であります。

御礼感謝申し上げます。そして、天台宗で展開しております十年に亘る宗師先徳鑽仰大法会も、愈々来年の宗祖大師様の千二百年大遠忌にむけて、宗祖大師様の心をごこめて、宗徒檀信徒一丸となって進んでいくところでもあります。本年は、群馬県民の日・十月二十八日に、御本山比叡山延暦寺にて檀信徒結縁灌頂と伝教大師千二百年大遠忌群馬教区法要を奉修いたします。菩提寺御住職様を通してご案内申し上げますので、人間として仏教徒として、日々信仰に満ちた心豊かな生活をお過ごしいただきたいと、皆様のご参加をお待ちしております。

本年こそ風雨順時にして、心穏やかな幸多き年であることをご祈念申し上げ、宗務所長就任並びに年頭のご挨拶とさせていただきます。

一隅を照らそう

ご来場頂き、成功裏に閉会いたしましたこと大会副会長として厚く御礼申し上げます。

また、十年間に亘る宗師先徳鑽仰大法会も、根本中堂の改修事業もまだ道半ばであり、事業遂行のためには引き続き皆様のご支援をお願いする次第であります。

御礼感謝申し上げます。そして、天台宗で展開しております十年に亘る宗師先徳鑽仰大法会も、愈々来年の宗祖大師様の千二百年大遠忌にむけて、宗祖大師様の心をごこめて、宗徒檀信徒一丸となって進んでいくところでもあります。本年は、群馬県民の日・十月二十八日に、御本山比叡山延暦寺にて檀信徒結縁灌頂と伝教大師千二百年大遠忌群馬教区法要を奉修いたします。菩提寺御住職様を通してご案内申し上げますので、人間として仏教徒として、日々信仰に満ちた心豊かな生活をお過ごしいただきたいと、皆様のご参加をお待ちしております。

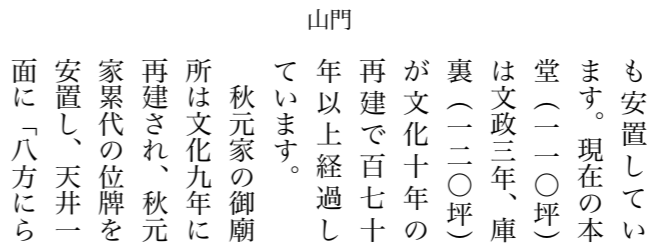
シリーズ群馬の寺々 第四十五回

西前橋部 秋元山江月院 光厳寺

前橋市総社町総社一六〇七 住職 田中祥順



当山は西暦一六〇七年に総社城主の秋元越中守秋元長朝公が菩提寺として建立しました。山号は秋元の姓より、院号は長朝公の法号江月院殿より、寺号は長朝公の母公の法



山門

号光厳院殿より、つけられました。本尊は釈迦牟尼如来、脇士に文殊菩薩、普賢菩薩をまつり、阿弥陀如来、観世音菩薩、地藏菩薩等の尊像も安置しています。現在の本堂（一一〇坪）は文政三年、庫裏（一一〇坪）が文化十年の再建で百七十年以上経過しています。

秋元家の御廟所は文化九年に再建され、秋元家累代の位牌を安置し、天井一面に「八方にら



本堂



秋元家御廟所(左奥に七重の石造文化財宝塔)



力田遺愛碑



「八方にらみ」の龍

天台宗檀信徒祖山参拝研修会に参加して
 山崎家に嫁いで三十年余りが経ち、嫁いで一年で義祖母、十五年前に義父、五年前に義母を見送りました。嫁ぎ先が天台宗とは知っていましたが、ただ知っているという事だけで全く感心もありませんでした。今回の研修も観光気分であった事は否めませんが、参加させて頂き、非日常の写経、坐禅、結縁灌頂と体験させて頂き、ほんの少しでも天台宗を知る事が出来、貴重な経験でした。又、研修の法話で「影」という言葉が頭に残っています。根本中堂の「不滅の法灯」を見た時、もともと明るく照らしていると思っていたのですが、明るく照らすという事は影が出来てしまう。あの明るさでは影は出来ず、私達を平等に照らしているのだと自分なりに解釈しました。又、日々の生活の中で不平不満を言はず、感謝の気持ちを忘れずに生活して行こうと思

一宗功労者表彰
 住職五十年勤続
 金剛院住職 榎本 晃英
 禅定院住職 飯田 祐中
 住職三十年勤続
 天王寺住職 青柳 行暢
 今宮寺住職 河原 良親
 興禪寺住職 権頭 俊澄
 清泉寺住職 小林 晃豊
 本樂寺住職 金井 峻純

一宗公職歴任
 善光寺副住職 宮本 匡順
 観音寺住職 角田 興憲
 大光寺住職 六本木 祐剛
 慈眼寺住職 中泉 玄洋
 善龍寺住職 米原 祐尋

青少年研修会の楽しかったこと
 私は、今年で四回目の青少年研修会です。一番楽しかったことは、二つあります。一つ目は、おはし作りです。二つ目は、お守り作りです。おはし作りでは、おはしに絵をかきます。そして、お守り作りでは、ビーズを入れたり楽しかったです。

次に楽しかったことは、昼食です。昼食は、バーベキューと流しそうめんをしました。お肉で、一番おいしかったのは、とり肉です。流しそうめんは、上の方で流し、下の方で食べました。夕飯はカレーで、からかったからみんな、水をたくさん飲んでいました。レクリエーションでは、駐車場が小

予告
 祖師先徳鑽仰大法会
 伝教大師二〇〇年大遠忌
 群馬教区法要奉修
 於 比叡山延暦寺
 十月二十七日(火)〜二十九日(木)

- 編集委員紹介
- | | |
|-------|----------------|
| 編集委員長 | 富岡部 光明院 今村 孝道 |
| 編集委員 | 西前橋部 大福寺 轟 亮順 |
| | 高崎部 法輪寺 三浦 眞優 |
| | 桐生部 日輪寺 具瀬 真洋 |
| | 沼田部 観音寺 小作 晃胤 |
| | 東前橋部 東壽寺 青柳 興雅 |

一隅を照らそう

新住職紹介



令和元年

八月一日

南前橋部 安養院 青柳 晃敬 師



令和元年

八月二十六日

伊勢崎部 華藏寺 藤井 祐幹 師



令和元年

十月三日

世良田部 長光寺 大沢 亮智 師



園児による「しょうぐうさん体操」



綾小路きみまろ氏

「一隅を照らす運動」 三浦祐俊本部長挨拶

みなさん、こんにちは。

本日は第12回「一隅を照らす運動」群馬大会に、御参加賜り誠にありがとうございます。

天台宗では、平成24年度より10年に亘る、祖師先徳鑽仰大法会も、愈々2年後の宗祖伝教大師1200年大遠忌にむけて、お大師様のご遺徳を偲び、報恩謝徳の心をこめて、宗徒檀信徒一丸となって、進んでいくところであります。

群馬教区では、昭和46年・ここ群馬音楽センターを会場に、長野善光寺大勧進都筑玄妙御貫主・中曾根康弘元内閣総理大臣・平泉中尊寺今東光御貫主のお3人をお迎えし、第1回の一隅大会を開催しております。

あれから、48年、「うるわしくなごやかな」新たな元号「令和」を迎えた本年、「一隅を照らす運動」発足50周年を記念し、お大師様のご精神を体して、「一隅を照らす運動」を推進し、広く社会の精神生活の向上、浄仏国土の建設に精進することを目的として、これより本大会を開催致します。

私達人間の豊かさは、「人の喜びを素直に喜べる人」、「人の心の痛みがわかる人」、「人に対して優しさや思いやりがもてる心豊かな人」だと思います。

日々、このように努めて生活して参りたく、只今より、参加者の皆様と共に「一隅を照らす」心をもう一度、見つめ直す機会にし、本大会が皆様の心の中に残る大会になることを念願して、御挨拶とさせていただきます。

本日は、御参加賜り誠にありがとうございます。



露の団姫師



北原朱夏氏



地球救援募金贈呈

祖師先徳鑽仰大法会 一隅を照らす運動発足50周年記念 第12回「一隅を照らす運動」群馬大会開催



2回「一隅を照らす運動」群馬大会



実践者表彰



不滅の法燈

七月十一日高崎市「群馬音楽センター」に於いて、檀信徒二千余名が集まり、第十二回「一隅を照らす運動」群馬大会が開催されました。

この大会は、「一隅を照らす運動」発足五十周年の記念大会で、三浦本部長の挨拶、杜多宗務総長・小堀延曆寺執行の祝辞の後、「平和祈願法要」となり、福聚教会員による「古慶の詠歌」

休題の後、「一隅を照らす運動」広報大使の露の団姫師による「落語家・まるこの仏道修行」という落語風記念講演、アトラクション①として、昨年度の一隅年次大会で講演をされた北原朱夏氏（高橋美清師）の昭和・平成の懐メロを主とした「歌謡ショー」、アトラクション②は、綾小路きみまろ師匠の「爆笑ミニライブ」と続き、「中年夫婦」の会話を笑い飛ばす漫談に会場が爆笑



開会式法楽

の奉詠舞・「比叡山仏道讃仰和讃」の奉詠、群馬雅楽会員による「越殿楽」「五常楽」の奉奏があり、会場の参加者が合掌する中、「不滅の法燈」が入場し、その前で法要が営まれました。

次に実践者表彰となり、永年に亘り地域や寺院事業に協力し、清掃活動等の奉仕作業を実施している個人三名・五団体が三浦宗務所長から表彰されました。そして群馬教区保育連盟所属の保育園児による「しょうぐうさん体操」の時間となり、着ぐるみの「しょうぐうさん」と共にかわいい園児たちが跳んだり、はねたり、手をたたいたり、大熱演の体操を披露してくれました。



奉詠舞風景

謹賀新年

Table listing names and titles of members and staff for the New Year Greeting, including various roles like President, Vice President, and various department heads.

Table listing names and titles of members and staff for the New Year Greeting, including various roles like President, Vice President, and various department heads.

示寂

Table listing names and dates of deceased members, including their names and the dates of their passing.